

2. 学生の動向

2-1. 指導学生数 推移

2-1-1. 学部

注

3-1. 指導学生数 推移は、本科教務係にて収集・集計。

3-2. 2019年度 大学院生の研究活動記録は本科評価資料室にて収集・編集。

	2 年次学生		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
行動学	38	51	45
社会学	33	30	32
教育学	41	31	35
共生学	30	18	22
グローバル人間学			
人間科学コース	14	12	10
配属外	1	2	0
計	157	144	144

(人)

	3 年次学生		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
行動学	51	43	52
社会学	39	37	33
教育学	47	45	34
共生学		31	22
グローバル人間学	17		
人間科学コース	9	14	12
配属外	0	1	0
計	163	171	153

(人)

	4 年次学生		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
行動学	58	61	55
社会学	38	43	45
教育学	68	60	59
共生学			31
グローバル人間学	24	23	6
人間科学コース	14	12	15
配属外	0	0	0
計	202	199	211

(人)

	学部卒業者		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
行動学科目/専修	58	49	48
社会学・人間学科目/専修	33	35	34
教育学科目/専修	53	46	44
共生学科目/専修			23
グローバル人間学	18	17	4
人間科学コース	7	14	7
計	169	161	160

(人)

2-1-2. 博士課程前期

	前期1年生		
	H29年度	H30年度	R1年度
人間行動学	13	8	10
行動生態学	4	6	3
社会環境学	15	14	12
基礎人間科学	10	6	8
臨床教育学	22	18	16
教育環境学	9	4	7
未来共生学	20	16	11
グローバル共生学	11	9	6
先端人間科学			
人間開発学			
地域研究			
計	104	81	73

(人)

	前期2年生		
	H29年度	H30年度	R1年度
人間行動学	14	15	11
行動生態学	6	3	6
社会環境学	18	21	18
基礎人間科学	12	14	9
臨床教育学	25	29	31
教育環境学	23	10	6
未来共生学	21	26	21
グローバル共生学	18	14	11
先端人間科学			
人間開発学			
地域研究			
計	137	132	113

(人)

(前期3年以上の在籍を含む)

大学院博士前期課程修了者

	博士前期課程		
	H29年度	H30年度	R1年度
人間行動学	12	12	11
行動生態学	6	3	3
社会環境学	12	15	14
基礎人間科学	7	11	8
臨床教育学	20	16	22
教育環境学	17	8	3
未来共生学	15	21	12
グローバル共生学	14	11	9
先端人間科学			
人間開発学			
地域研究			
計	103	97	82

(人)

2-1-3. 博士課程後期

	後期 1 年生		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
人間行動学	10	3	4
行動生態学	2	1	1
社会環境学	3	5	3
基礎人間科学	3	7	10
臨床教育学	8	7	4
教育環境学	0	2	2
未来共生学	18	14	15
グローバル共生学	4	3	4
先端人間科学			
人間開発学			
地域研究			
計	48	42	43

(人)

	後期 2 年生		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
人間行動学	4	10	3
行動生態学	2	2	1
社会環境学	1	3	5
基礎人間科学	8	3	7
臨床教育学	6	7	7
教育環境学	4	0	2
未来共生学	9	18	14
グローバル共生学	8	4	3
先端人間科学			
人間開発学			
地域研究			
計	42	47	42

(人)

	後期 3 年生		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
人間行動学	8	8	13
行動生態学	2	2	3
社会環境学	13	12	9
基礎人間科学	14	19	14
臨床教育学	31	25	16
教育環境学	9	13	6
未来共生学	13	18	27
グローバル共生学	5	12	11
先端人間科学			
人間開発学	1	0	
地域研究	1	0	
計	97	109	99

(人)

大学院博士後期課程 修了者	博士後期課程		
	H29 年度	H30 年度	R1 年度
人間行動学	1	4	4
行動生態学	0	1	2
社会環境学	3	4	6
基礎人間科学	3	4	7
臨床教育学	4	12	10
教育環境学	1	7	2
未来共生学	1	11	6
グローバル共生学	0	2	3
先端人間科学	0	0	0
人間開発学	1	0	0
地域研究	0	1	0
計	14	46	40

(人)

(後期 4 年以上の在籍を含む)

【単位修得退学後3年以内の論文提出により修了した者の取扱
い】

例年通り、2020年3月1日において在籍(在学・留学・休学)していれば含む。単位修得退学が当該年度の集計時点より前(本件データであれば、2020年2月29日以前)の者は含まない。

【修了者の定義】

単位修得退学が当該年度(本件であれば2019年度)内であれば含む。単位修得退学が当該年度より前(本件であれば2018年度以前)であれば含まない。

(注)大学院博士後期課程修了者とは、学位取得者のことを指す。

(注)H29年度以前は単位修得退学者を含まない。

(注)H30年度以降は当該年度中の単位修得退学者を含む。

(注)単位修得退学後修了者を除く。また、当該年度の9月修了者及び早期修了者を含む。

(注)過年度における単位修得退学後、3年以内の論文提出による修了者を除く。

2-2. 2019 度 大学院生の研究活動記録

注

1. 印刷中であっても、掲載が決まっているものは、本年度実績として記載可。
2. 記載方法及び論文の審査有無は院生自身の自己申告による。
3. 昨年度発表でも今年度の活動記録として申請したものは、2019 年度の活動記録として掲載。

2-2-1. 行動学系

行動学系	在籍者※	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	55 名	55 名	100.0 %	36 名	65.5 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	入戸野 宏	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	大湾 麻衣	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	自然環境音の再生サンプリング周波数が音質の知覚と心理生理状態に及ぼす影響	大湾麻衣・入戸野宏	2019年 5月	第 37 回日本生理心理学会大会	—
会議報告 /口頭発表	ハイレゾオーディオの高周波数成分は人間に影響を及ぼすか	大湾麻衣・入戸野宏	2019年 8月	感性・脳科学研究部会 睡眠研究部会 合同会合	—
会議報告 /口頭発表	ハイレゾオーディオはなぜ良いのか？—サンプリング周波数が心理・生理状態に及ぼす影響—	大湾麻衣・入戸野宏	2019年 12月	第 43 回関西若手実験心理学研究会	—

学生氏名	中村 風雲	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	腕回し動作が拡散的思考および気分を与える効果	中村風雲・入戸野宏・竹島康弘	2019年 9月	日本心理学会第 83 回大会	—

学生氏名	水原 啓太	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	自由選択課題におけるポストディクシオン現象の認知モデル—ベイズ統計モデリングによる検証—	武藤 拓之・水原 啓太・入戸野 宏	2019年 5月	日本認知心理学会第 17 回大会	—
会議報告 /口頭発表	自由選択課題におけるポストディクシオン	水原 啓太・武藤 拓之・入戸野 宏	2019年 8月	感性・脳科学研究部会&睡眠研究部会 合同会合	—
会議報告 /口頭発表	随意呼吸時の呼吸位相と情動刺激の知覚との関連についての予備的検討	水原 啓太・入戸野 宏	2020年 2月	第 52 回知覚コロキウム	—

指導教員	森川 和則	講座/研究分野	基礎心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	小林 勇輝	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	An Upward-Facing Surface Appears Darker: The Role Played by the Light-From-Above Assumption in Lightness Perception	Kobayashi, Y., Morikawa, K.	2019年 5月	Perception 48 巻 6 号 500-514	○
国際会議 (proc なし)	Asymmetric brightness effects with dark vs light glare-like stimuli.	Kobayashi, Y., Zavagno, D., Morikawa, K.	2019年 7月	Asia Pacific Conference on Vision	○
国際会議 (proc なし)	An inversion effect in lightness: Light-from-above prior changes perceived lightness in non-stereoscopic stimuli.	Kobayashi, Y., Morikawa, K.	2019年 8月	European Conference on Visual Perception	○
会議報告 /口頭発表	上方光源の仮定が明度知覚に与える効果	小林勇輝	2019年 7月	関西若手実験心理学研究会	—
会議報告 /口頭発表	上向きの面は暗く見える：上方光源の仮定が明度知覚に及ぼす影響	小林勇輝, 森川和則	2019年 11月		○
会議報告 /口頭発表	明度知覚と形状知覚での異なる照明表象処理過程	小林勇輝, 森川和則	2019年 11月		—
会議報告 /口頭発表	グレア・反転グレア図形における非対称な明るさ錯視効果	小林勇輝, Daniele Zavagno, 森川和則	2020年 2月	知覚コロキウム	—

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	研究奨励賞	小林勇輝	2020年1月	関西心理学会
	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	高次・トップダウン処理による明度知覚への効果	小林勇輝	2019年	日本学術振興会
助成金	白や黒を知覚する機序の解明—照明の推定という視点から—	小林勇輝	2019年	日本学術振興会

指導教員	篠原 一光	講座/研究分野	応用認知心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	藤原 悠史	学年	DC3			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	視覚的作業支援情報の操作対象物に対する追従呈示の効果の検討	藤原悠史,篠原一光,北村昭彦,佐々木誠	2019年6月	人間工学	○	
会議報告/口頭発表	3次元空間内での作業におけるヘッドアップディスプレイの利用が作業パフォーマンスと負担に及ぼす影響の検討	藤原悠史,北村昭彦,篠原一光,佐々木誠	2019年12月	2019年度日本人間工学会関西支部大会講演論文集	—	

指導教員	三浦 麻子	講座/研究分野	社会心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	YE HUIJING	学年	MC1			
	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名		
助成金	挑戦的研究活動経費	YE HUIJING	2019年10月	大阪大学		

学生氏名	井奥 智大	学年	DC1			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	Mitigating Violence Against First Responder Teams: Results and Ideas From the Hackmanathon	Joseph A. Allen, Jennifer Taylor, Regan M. Murray, Molly Kilcullen, Lily Cushenbery, Josette Gevers, Lindsay Larson, Tomohiro Ioku, Cynthia Maupin, Samantha Perry, Semin Park, Michael Rosen, Trevor Fry, Poppy McLeod, Alexa Harris, Kaitlin Fosler	2019年10月	Small Group Research	○	

学生氏名	青木 香保里	学年	MC2			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審	
学術論文	リスク回避度を定量指標とした集団極化の検討	青木香保里・木谷圭一・辻勇士・藤井結佳利・釘原直樹	2018年3月	対人社会心理学研究 18巻 123-128	○	

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
研究助成	トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム	青木香保里	2018年2月	独立行政法人日本学生支援機構

学生氏名	山縣 芽生	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	The Replication of Moral Foundations Questionnaire in Japan	Mei Yamagata		2019年7月	The 2019 Asian Association of Social Psychology Conference (Taipei)	○			
会議報告 /口頭発表	法律上の罪と道徳上の罪 -裁判員裁判の量刑を素材として-	外塚 果林		2019年10月	法と心理学会第20回大会	○			
会議報告 /口頭発表	勤勉因子を新たに含む道徳因子モデルの再検討	山縣 芽生		2019年11月	日本社会心理学会第60回大会	-			

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	2019年度国際会議等参加旅費補助	山縣 芽生	2019年7月	日本心理学会
助成金	2019年度 大阪大学大学院人間科学研究科 論文等の外国語校正支援	山縣 芽生	2019年9月	大阪大学大学院人間科学研究科教育改革推進室

学生氏名	法 弁	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Examining the impact of the arbitrariness of death on explorative activities in Japan	法 弁, 寺口 司, 綿村 英一郎		2019年7月		○			
会議報告 /口頭発表	死の予測不能性が罪悪感に与える影響の検討	法 弁, 綿村 英一郎		2019年11月		○			

学生氏名	大工 泰裕	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Effective forewarning requires central route processing: Theoretical improvements on the counterargumentation hypothesis and practical implications for scam prevention,	Yasuhiro Daiku, Naoki Kugihara, Tsukasa Teraguchi, Eiichiro Watamura		2020年3月	PLOS ONE	○			
学術論文	心理社会的特性と認知機能に基づく高齢者の詐欺被害防止に関する今後の展望	上野大介, 大工泰裕, 江口洋子, 成本迅		2020年3月	生老病死の行動科学 24, 9-21	○			

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	日本応用心理学会第86回大会 優秀大会発表賞	大工 泰裕, 内田 遼介, 寺口 司, 綿村 英一郎, 釘原 直樹	2019年12月	日本応用心理学会
受賞	2019年 法と心理学会大会発表賞	寺口 司, 内田 遼介, 大工 泰裕	2019年9月	法と心理学会

指導教員	権藤 恭之	講座/研究分野	臨床死生学・老年行動学
------	-------	---------	-------------

学生氏名	松本 清明	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	Using assistive devices related to residence type	Tsai YuChun, Yasuyuki Gondo, Saori Yasumoto, Kiyooki Matsumoto, Yukie Masui, Hiroki Inagaki, Misato Nihei, Ikuko Sugawara, Nozomi Ehara, Takenobu Inoue, Malcolm MacLachlan, Eilish MacAuliffe		2019年10月	11th IAGG Asia/Oceania Regional Congress	○			
会議報告/口頭発表	支援機器の使用と主観的幸福感の関係	蔡羽淳, 権藤恭之, 安元佐織, 松本清明, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 二瓶美里, 菅原育子, 江原望, 井上剛伸		2019年6月	第61回老年社会学会大会	○			

学生氏名	蔡 羽淳	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	支援機器の使用と主観的幸福感の関係	蔡羽淳, 権藤恭之, 安元 佐織, 松本清明, 増井幸 恵, 稲垣宏樹, 二瓶美里, 菅原育子, 江原望, 井上 剛伸	2019年6月	第61回老年社会科学大会	○				
会議報告 /口頭発表	Using assistive devices related to residence type	Tsai, YuChun, Yasuyuki Gondo, Saori Yasumoto, Kiyooki Matsumoto, Yukie Masui, Hiroki Inagaki, Misato Nihei, Ikuko Sugawara, Nozomi Ehara, Takenobu Inoue, Malcolm MacLachlan, Eilish MacAuliffe	2019年10月	11th IAGG Asia/Oceania Regional Congress	○				

指導教員	三好 恵真子	講座/研究分野	環境行動学
------	--------	---------	-------

学生氏名	吉成 哲平	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	アラスカの地に見出されたコスモスの時空－ 写真家 星野道夫が問い続けた「人間と自然の 関わり」からの試論－	吉成哲平・三好恵真子	2019年6月	日本生活学会第46回研究発表大会	－				
その他	アラスカが教えてくれたこと－写真家 星野道 夫との出会いに始まって	吉成哲平	2019年	大阪大学大学院人間科学研究科附 属未来共創センター2019年度第1 回ランチトーク	－				

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	日本生活学会 2019年度生活学プロジェクト 助成	吉成哲平・三好恵真子	2019年8月	日本生活学会

学生氏名	XU JUNQING (許 俊卿)	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (procあり)	A Reconsideration of Newspaper Reports Regarding PM2.5 Problems in China under the Perspective of Risk Communication: based on the content analysis of the reports of "People's Daily" from Jan.1,2012 to Dec.31, 2016	XU Junqing, HU Yuyu, MIYOSHI Emako	2019年	International Joint Conference on Information, Media and Engineering 2019	○				
国際会議 (procあり)	从风险沟通角度探讨《人民日报》在大气污染 问题上的报道变化	許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵 真子	2019年11月	－	－				
会議報告 /口頭発表	リスク社会における中国の大気汚染問題に関 する新聞報道分析からの再考－1970年から 2016年までの『人民日報』を対象として－	許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵 真子	2019年6月	日本現代中国学会関西西部会	－				
会議報告 /口頭発表	リスクコミュニケーションの視点から中国に おける大気汚染問題の新聞報道の再考	許俊卿, 胡毓瑜, 三好恵 真子	2019年9月	日本生活学会	－				
その他	メディア研究におけるフレーム理論の扱いに 関する日中比較－リスクコミュニケーション への展開に向けて－	許俊卿, 三好恵真子	2019年	大阪大学大学院人間科学研究科紀 要第46巻	－				

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
研究助成	大気汚染のPM2.5問題に対するリスク認知と 関連要因調査	許俊卿	2019年	日本生活学会

学生氏名	ZHANG MANQING	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	「『ポスト郷土中国』における郷土性 の継承から再考する養豚廃棄物汚染問題への展望」	張曼青	2019年		—
会議報告 /口頭発表	「ポスト郷土中国」における養豚廃棄物処理の課題と展望 —安徽省南部の事例における郷土性の継承及び耕種畜産形態からの再考—	張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子	2019年6月		—
会議報告 /口頭発表	中国循環型畜産業における地域完結型バイオガス資源循環利用の課題と展望	胡毓瑜, 張曼青, 三好恵真子	2019年6月		—
学術論文	中国における生活環境主義の理論導入とその独自の展開	張曼青, 三好恵真子	2019年9月		—
国際会議 (proc あり)	关于舟山养殖场沼气利用情况的系统分析与展望	胡毓瑜, 張曼青, 三好恵真子	2019年11月	第十三屆現代中國與東亞新格局シンポジウム論文集	—
国際会議 (proc あり)	从生活环境主义角度对中国大规模畜禽养殖污染的解决策的再探讨	張曼青, 胡毓瑜, 三好恵真子	2019年11月	第十三屆現代中國與東亞新格局シンポジウム論文集	—

学生氏名	LI XIN	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	中国河北省における大気汚染対策が人々の生活にもたらした影響	李欣, 胡毓瑜, 三好恵真子	2019年5月	日本生活学会第46回研究発表大会梗概集日本生活学会第46回研究発表大会	—

学生氏名	WANG SHINUO	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	福島県産食品をめぐる不可視のリスク—在日中国人留学生を対象として—	王石諾, 胡毓瑜, 三好恵真子	2019年6月	日本生活学会 第46回大会	○

学生氏名	YANG RUITING	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	中国の重金属汚染に関する新聞報道の比較分析—環境ガバナンスの視点からの一考察—	楊蕊婷, 胡毓瑜, 三好恵真子	2019年6月	日本生活学会 第46回大会	○

学生氏名	HUANG XUAN	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	中国水汚染ガバナンスにおける民間河長参与に関する課題と展望:貴州省貴陽市の事例からの一考察	黄璇, 胡毓瑜, 三好恵真子	2019年6月		—

学生氏名	辻 寛	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	持続可能なコミュニティを作るための場のデザインに関する一考察	辻寛	2019年12月	第60回土木計画学研究発表会	—
大学・研究所等の報告	大学生が考える公共交通がつなぐ地域再生プロジェクト—能勢電鉄沿線をフィールドとしたPBL講義について—	辻寛	2020年1月	交通科学	—

学生氏名	西川 優花	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	A Short Ecological History of Varzaneh: Adaptive Responses to and Resilience against the Adversity of Drought	Yuka Nishikawa	2020年3月	Standing up to Climate Changes 1	○

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	副次的生業・マイナーサブシステムからみるイラン乾燥地農村社会における人間と自然とのかかわりの知	西川優花	2019年	片倉もとこ記念沙漠文化財団
その他 共同研究	熱からみる自然資源利用の知と実践	佐藤麻理絵	2019年	現代中東研究

指導教員	小林 清治	講座/研究分野	環境行動学
------	-------	---------	-------

学生氏名	JIN JINAN (金 吉男)	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	迷惑施設をめぐる紛争に関する研究の日中比較 —中国における事例研究への視座—	金吉男、小林清治	2019年6月	第46回日本生活学会 研究発表大会	—				
会議報告 /口頭発表	「全量焼却」政策と「リサイクル社会」の構築に関する環境正義論的考察 —中国 G 市における廃棄物焼却施設建設をめぐる紛争を例として—	金吉男	2019年10月	日本現代中国学会第69回全国学術大会	—				
学術論文	廃棄物処理施設をめぐる紛争に関する研究の日中比較：中国における事例研究への示唆	金吉男、小林清治	2020年2月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要	—				

指導教員	臼井 伸之介	講座/研究分野	安全行動学
------	--------	---------	-------

学生氏名	橋本 采栄	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	異質のリスク-ベネフィット状況におけるリスクテイキング	橋本采栄・森泉慎吾・中井宏・臼井伸之介	2019年8月	日本応用心理学会第86回大会	—				

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	優秀大会発表賞	橋本采栄・森泉慎吾・中井宏・臼井伸之介	2019年12月	日本応用心理学会

学生氏名	菊池 勇哉	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	旧・新骨度法による経穴の部位差異に関する検討	深澤 駿也	2019年5月	全日本鍼灸学会学術大会愛知大会	○				
会議報告 /口頭発表	中髒穴刺激における心拍変動の変化	北小路 博司	2019年5月	全日本鍼灸学会学術大会愛知大会	○				
会議報告 /口頭発表	鍼灸臨床における不安全行動に対するリスク認知 鍼灸師、学生、教員間での比較	菊池 勇哉	2019年5月	全日本鍼灸学会学術大会愛知大会	○				
会議報告 /口頭発表	鍼通電刺激による筋の弛緩効果に関する検討? 筋形態および筋硬度に及ぼす影響?	大井 優紀	2019年5月	全日本鍼灸学会学術大会愛知大会	○				
その他	学術研究部安全性委員会ワークショップ 鍼灸安全性ガイドラインの改訂について	上原 明仁	2019年5月	全日本鍼灸学会学術大会愛知大会	○				

指導教員	金澤 忠博	講座/研究分野	比較発達心理学
------	-------	---------	---------

学生氏名	河内 清美	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	会話期の ASD 児へのインリアル・アプローチ	河内 清美	2019年3月	第31回日本発達心理学会論文集第31回日本発達心理学会	—				

学生氏名	田中 祐子	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	母親の特性が母子相互作用に及ぼす影響について	田中祐子	2020年3月	日本発達心理学会 第31回大会	—				

学生氏名	島藤 安奈	学年	DC2	論文分類	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	阪大ピッチ 2020 優秀賞 3 位・特別審査員賞	島藤安奈	2020年1月	大阪大学共創機構産学共創・渉外本部				

指導教員	足立 浩平	講座/研究分野	行動統計科学
------	-------	---------	--------

学生氏名	中島 文	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc あり)	Three-mode PCA for finding a solution intermediate between Tucker3 and Parafac	Aya Nakashima 、 Kohei Adachi	2019 年 12 月	12th International Conference of the ERCIM Working Group on Computational and Methodological Statistics (London)	○

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	大学院生国際学会海外派遣支援金	中島 文	2019 年 9 月	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	山本 勇気	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	A Threshold-Constrained Sparse Regression Procedure and its Comparison with L0 approach	Yuki Yamamoto/Kohei Adachi	2019 年 11 月	日本計算機統計学会 第 33 回シンポジウム 講演論文集日本計算機統計学会 第 33 回シンポジウム 165-168	—

学生氏名	伊藤 真道	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	独自性を完全分離したスパース共通因子分析	伊藤真道・足立浩平	2019 年 6 月	日本計算機統計学会第 33 回大会	○
国際会議 (proc なし)	An extended k-means clustering procedure with unique factors	Masamichi Ito, Kohei Adachi	2019 年 12 月	Computational and Methodological Statistics 2019	—
国際会議 (proc なし)	Uniqueness-Dissociated Factor Analysis Modified for Providing Sparse Loadings and Extended Common Factors	Masamichi Ito, Kohei Adachi	2019 年 8 月	Data Science, Statistics and Visualisation 2019	○

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	Outstanding poster award [first prize]	Masamichi Ito, Kohei Adachi	2019 年 8 月	Comitties of Data Science, Statistics and Visualisation 2019

学生氏名	牧野 直道	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Joint Oblique Rotation in Multiple Correspondence Analysis and Its Properties	Naomichi Makino	2019 年 8 月	Data Science, Statistics & Visualisation 2019	○

学生氏名	山下 直人	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Procrustes penalty function for matching matrices to targets with its applications	Naoto Yamashita	2019 年 7 月	International Meeting of the Psychometric Society	○

指導教員	中野 良彦	講座/研究分野	生物人類学
------	-------	---------	-------

学生氏名	設楽 哲弥	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	ニホンザルにおける股関節伸展筋の機能：形態分析と運動分析から	設楽哲弥、後藤遼佑、中野良彦	2019年3月	第124回日本解剖学会総会	○				
会議報告 /口頭発表	支持基体の種類がニホンザルの股関節内旋運動に及ぼす影響	設楽哲弥、後藤遼佑、Neysa Grider-Potter、中野良彦	2019年10月	第73回日本人類学会大会	—				
会議報告 /口頭発表	Substrate compliance and head stability during arboreal locomotion in Hylobates lar	GRIDER-POTTER N., GOTO R., SHITARA T., OKA K., NAKANO Y.	2019年10月	第73回日本人類学会大会	—				
国際会議 (proc なし)	Rotator actions of hip extensors in Japanese macaques during arboreal quadrupedal walking: implications for functional differentiation between gluteus medius and hamstrings.	Shitara. T., Goto. R., Nakano. Y.	2019年6月	Asia pacific conference on human evolution	○				

○受賞/研究助成

助成金	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	2019年度共同利用・共同研究	設楽哲弥	2018年4月	京都大学霊長類研究所

指導教員	中道 正之	講座/研究分野	比較行動学
------	-------	---------	-------

学生氏名	貝ヶ石 優	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Intraspecific variation in the degree of fission-fusion dynamics in Japanese macaques (<i>Macaca fuscata</i>)	Yu Kaigaishi, Kazunori Yamada, Masayuki Nakamichi	2019年7月	Behavior 2019	○				
会議報告 /口頭発表	淡路島ニホンザル集団における成体メス間の順位構造の分析	貝ヶ石優, 山田一憲, 中道正之	2019年7月	第35回日本霊長類学会大会	—				
学術論文	High but not low tolerance populations of Japanese macaques solve a novel cooperative task	Yu Kaigaishi, Masayuki Nakamichi, Kazunori Yamada	2019年8月	Primates	○				

学生氏名	石川 大輝	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	嵐山集団における未成年から超高齢個体の社会関係	石川大輝	2019年6月	ニホンザル研究セミナー ニホンザルの「暮らし」を俯瞰する—遺伝子・行動・生態・人との関わり—	—				
会議報告 /口頭発表	嵐山ニホンザル集団におけるアカンボウから超高齢個体まで全個体の社会関係	石川大輝, 山田一憲, 中道正之	2019年7月		—				

2-2-2. 社会学・人間学系

社会学 ・人間学系	在籍者※	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	95 名	86 名	90.5 %	40 名	42.1 %

※在籍者には休学者を含む

指導教員	川端 亮	講座/研究分野	現代社会と社会理論
------	------	---------	-----------

学生氏名	GU YI	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	(書評) Lawler, E. J., Thye, S. R., & Yoon, J. (Eds.). (2015). <i>Order on the Edge of Chaos Social Psychology and the Problem of Social Order</i> . Cambridge University Press.	GU YI	2020年3月	年報人間科学 41号 83-87	—				

学生氏名	尾藤 央延	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	インセンティブ顕著性効果のパターン分析—目標フレームモデル (GFM) とフレーム選択モデル (MFS) の比較	尾藤 央延	2019年9月	日本社会学理論学会	—				
会議報告 /口頭発表	Dual-earner Couples and Dual Process Theories: An Empirical Application of MFS to the Division of Household Labor in Japan	HIRONOBU BITO	2019年11月	Analytical Sociology: Theory and Empirical Applications	—				
会議報告 /口頭発表	アメリカ社会学における社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review (2013年~2017年) 掲載論文を素材に—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2019年11月	日本世論調査協会研究大会	○				
会議報告 /口頭発表	ナショナル・アイデンティティと経済成長のパズル—サーベイ実験によるメカニズム解明の試み	齋藤 僚介, 尾藤 央延	2020年2月	関西計量社会学研究会	—				
学術論文	社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review を用いて—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2020年3月	よろん	—				
学術論文	社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review を用いて—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2020年3月	よろん	—				

学生氏名	坂口 恵莉	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Displaced from Fukushima: lived experiences and mental health	Irina Kuznetsova, Eri Sakaguchi	2019年12月	New And Old Diversities Exchange	○				

学生氏名	松本 雄大	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所等の報告	日本社会における価値意識の大局的なトレンドの検討：『日本人の意識』調査を用いたバイズ型 Age-Period-Cohort 分析	松本雄大	2019年10月	『戦後日本の社会意識の変容過程についての計量社会学的研究』2018年課題公募型二次分析研究会研究成果報告書	—				

指導教員	経験社会学	講座/研究分野	吉川 徹
------	-------	---------	------

学生氏名	日高 正樹	学年	MC1	論文分類	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
受賞	大学院学生研究集会開催支援金	日高正樹	2019年7月	Japanese Society of Cultural Anthropology				
助成金	大学院学生研究集会開催支援金	日高正樹	2019年7月	大阪大学大学院人間科学研究科 教育改革推進室				

学生氏名	須永 大智	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所等の報告	親の教育アスピレーションと教育期待に関する基礎的分析：アスピレーションと期待は一致するのか	須永大智	2019年7月	SSP-W2018 報告書 26-31	—				
会議報告/口頭発表	親の大学進学希望・期待と親の文化活動との関連	須永大智	2019年11月	第64回関西計量社会学研究会	—				
会議報告/口頭発表	アメリカ社会学における社会調査の動向に関する基礎的分析：American Sociological Review (2013年～2017年) 掲載論文を素材に	尾藤央延・齋藤僚介・須永大智・狭間諒多朗・渡辺健太郎	2019年11月	2019年度世論調査協会研究大会	○				
学術論文	非大卒親内部の教育アスピレーションの加熱/冷却：「学歴不満による限定的加熱」メカニズム	須永大智	2019年12月	教育社会学研究 105巻 93-114	○				

学生氏名	齋藤 僚介	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	アメリカ社会学における社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review (2013年～2017年) 掲載論文を素材に—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2019年11月	日本世論調査協会研究大会	○				
会議報告/口頭発表	ナショナル・アイデンティティと経済成長のパズル—サーベイ実験によるメカニズム解明の試み	齋藤 僚介, 尾藤 央延	2020年2月	関西計量社会学研究会	—				
学術論文	社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review を用いて—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2020年3月	よろん	—				
学術論文	社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review を用いて—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2020年3月	よろん	—				

学生氏名	渡辺 健太郎	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	アメリカ社会学における社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review (2013年～2017年) 掲載論文を素材に—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2019年11月	日本世論調査協会研究大会	○				
学術論文	社会調査の動向に関する基礎的分析—American Sociological Review を用いて—	尾藤央延, 齋藤僚介, 須永大智, 狭間諒多朗, 渡辺健太郎	2020年3月	よろん	—				

指導教員	コミュニケーション社会学	講座/研究分野	牟田 和恵
------	--------------	---------	-------

学生氏名	三品 拓人	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	児童養護施設における子ども間の身体的な暴力の社会的検討?施設内における「男子性」の凝縮に着目して?	三品拓人	2019年5月	フォーラム現代社会学	○				
学術論文	児童養護施設で暮らす小学生男子達にとっての〈友人〉	三品拓人	2020年3月	ソシオロジ	○				
会議報告/口頭発表	子どもにとっての理想の「親」像の形成—施設内の子どもの間格差に着目して—	三品拓人	2019年6月	日本子ども社会学会	—				
会議報告/口頭発表	子育て中の妊娠女性における生活の困難	妹尾麻美, 三品拓人, 安田裕子	2019年9月	第26回日本質的心理学会	—				
その他	児童養護施設で暮らす子どもの生活	三品拓人	2019年6月	大阪大学人間科学研究科 オープンキャンパス	—				

指導教員	文化社会学	講座/研究分野	Robert Scott North
------	-------	---------	--------------------

学生氏名	増田 伸子	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Present Status of Gender Equality in Japanese DEWKs Families	Nobuko Masuda	2019年9月	European Association for Japanese Studies	○

指導教員	文化社会学	講座/研究分野	山中 浩司
------	-------	---------	-------

学生氏名	笠井 敬太	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	小児がん経験者の自立観	笠井敬太	2019年4月	フォーラム現代社会学 18号 60-73	○

学生氏名	梅川 由紀	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
書評	<書評>Martin O'Brien, A Crisis of Waste?: Understanding the Rubbish Society, Routledge (New York), [2008]2011	梅川 由紀	2020年3月	年報人間科学 41号 67-70	—
学術論文	ごみの社会学—「モノの価値」と「ごみの家庭生活」の視点から	梅川 由紀	2020年3月	博士論文	○

学生氏名	正井 佐知	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	社会的包摂の実践と質的研究	正井佐知	2019年5月	日本法社会学会 2019年度学術大会・ミニシンポジウム「法社会学における理論的概念と観察的データ」	—
学術論文	障害者入所施設における投票支援：国政選挙を通じて	正井佐知	2019年8月		○

学生氏名	上野 彩	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	「 Rethinking of role of patient in Japan」	Aya Ueno	2019年7月	『医療・生命と倫理・社会』	—
会議報告 /口頭発表	「学問の不可視の前提を外して研究しよう：非定住者の地域利用,コミュニケーション忌避者の文化創出,流暢性を拒絶するアイデンティティ」	上野 彩	2019年6月	第90回 福祉社会学会	—

学生氏名	杉江 美子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	看護学生の児童虐待通報行動への影響要因	岡田由美子, 松島優理, 石崎美保, 杉江美子	2019年10月	第78回 日本公衆衛生学会総会	○
会議報告 /口頭発表	看護学生の多文化理解研修プログラムにおけるコミュニケーション能力の向上 -英語力の変化とソーシャルスキルに注目して-	宮澤純子, 杉江美子	2019年11月	第84回 日本健康学会総会	○
会議報告 /口頭発表	被災地復興期における健康支援活動 -健康相談会でコミュニティづくり-	杉江 美子, 東海林 かつ子, 日野 富, 櫻井 忍, 畠山 明子, 佐々木 明美, 小泉 香織, 釘村 千夜子, 高田 亜矢子, 土井 由美, 木下 恵, 橋浦 奈美子, 村上 廣子	2019年11月	第84回 日本健康学会総会	○
学術論文	看護大学生の児童虐待の認識と通告行動に影響する要因：ピネットを用いた質問紙調査	石崎美保, 松島優理, 岡田由美子, 杉江美子	2020年2月	千里金蘭大学 紀要 第16号 (通巻50号)	○

指導教員	福祉社会論	講座/研究分野	斉藤 弥生
------	-------	---------	-------

学生氏名	チェリー アンジェラー未来	学年	MC1
助成金	助成金の名称 学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	採択者名	チェリーアンジェラー未来
		採択年月	43617
		授与団体名	大阪大学人間科学研究科 教育改革推進室

学生氏名	村上 太一	学年	MC1
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月
書評	Victor Pestoff Co-Production and Public Service Management: Citizenship, Governance and Public Service Management	村上太一	2020年3月
		掲載誌名/書名/会議(学会)名	年報人間科学第 41 巻 69-74
		審	—

学生氏名	中元 航平	学年	MC1
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月
書評	(書評) Janice McLaughlin, Edmund Coleman-Fountain and Emma Clavering, Disabled Childhoods: Monitoring Differences and Emerging Identities, Routledge, 2016.	中元航平	2020年3月
		掲載誌名/書名/会議(学会)名	年報人間科学 41 巻 77-81
		審	—

指導教員	科学哲学	講座/研究分野	森田 邦久
------	------	---------	-------

学生氏名	池田 健人	学年	MC2
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月
学術論文	世界3の自律性は言語的実体と衝突するのか	池田健人	2019年10月
		掲載誌名/書名/会議(学会)名	新進研究者 Research Notes 2号 18-26
		審	○

学生氏名	JIANG XUEFEI	学年	MC2
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月
会議報告/口頭発表	なぜロボットを道徳的行為者とみなすべきなのか	JIANG XUEFEI	2019年6月
		掲載誌名/書名/会議(学会)名	2019年度科学基礎論学会総会と講演会
		審	—

学生氏名	小川 文紀	学年	DC2
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月
会議報告/口頭発表	「なぜ何もないのではなく何かがあるのか」の解釈問題	小川文紀	2019年6月
		掲載誌名/書名/会議(学会)名	科学基礎論学会
		審	—

学生氏名	加納 寛之	学年	DC3
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月
学術論文	EBPM から EIPM へ：環境政策におけるエビデンスの総合的評価の必要性	加納寛之, 林岳彦, 岸本充生	2020年3月
		掲載誌名/書名/会議(学会)名	環境経済・政策研究 13 巻 1号
		審	○

学生氏名	雪本 泰司	学年	DC3
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月
会議報告/口頭発表	Priority Presentism and The Problem of Now	Yukimoto Taishi	2020年3月
		掲載誌名/書名/会議(学会)名	Colloquium for Philosophy of Time: Mini-Seminar3
		審	—

指導教員	哲学と質的研究	講座/研究分野	村上 靖彦
------	---------	---------	-------

学生氏名	眞田 航	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	The Theory of Love in Nishida's Middle Period	SANADA Wataru	2019年 8月	5th Annual Conference of European Network of Japanese Philosophy, (Nagoya)	○

学生氏名	井上 瞳	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	性的虐待被害の当事者は語る—スティグマとは異なる当事者の姿	井上瞳	2019年 12月		○

学生氏名	三木 伸吾	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	教員養成課程における動感促発能力育成のためのアプローチ	近藤みづき, 三木伸吾	2019年 12月	スポーツ運動学研究 32巻 139-150	—
学術論文	小学校教員の体育指導に関する背景と課題	三木伸吾	2020年 2月	大阪大谷大学スポーツ健康学会誌 8号	—

指導教員	比較文明学	講座/研究分野	野尻 英一
------	-------	---------	-------

学生氏名	DOLINSEK SASO	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	菅野須賀子の「生き方」と無政府主義の必然	Saso Dolinsek	2020年 3月	年報人間科学 41号 109-125	○

指導教員	人類学	講座/研究分野	栗本 英世
------	-----	---------	-------

学生氏名	賈 玉龍	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Authenticity” and “Inauthenticity” in Sneaker Culture: A Case Study of Changhuo Sneaker in China	賈 玉龍	2020年 3月		○
会議報告 /口頭発表	エア・ジョーダンとスニーカー消費:正規品と場貨の間に	賈 玉龍	2019年 6月	2019年度日本文化人類学会研究大会	—

指導教員	科学技術と文化	講座/研究分野	森田 敦郎
------	---------	---------	-------

学生氏名	桜木 真理子	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Fluid Boundaries: Classification Making of Leprosy in Japan	Mariko Sakuragi	2019年4月	AJJ (Anthropology of Japan in Japan) 春季ワークショップ	—
会議報告 /口頭発表	感染症における人間と病原菌の生の重層—日本ハンセン病医学における菌形態の解釈と応用をめぐって	桜木真理子	2019年6月	日本文化人類学会・第53回研究大会	○
会議報告 /口頭発表	コメント：（「民俗学的「差別」研究の可能性—「日常」からのアプローチ）	桜木真理子	2019年8月	現代民俗学会第44回研究会	—
その他	コメント：「日常」は何を照らすのか	桜木真理子	2020年3月	現代民俗学研究	—
その他	ながなんちゃ：俺はシッセイ、お前はカンセイ	桜木真理子	2019年4月	月間みんぱく	—

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金		桜木真理子	2019年4月	日本学術振興会

学生氏名	WHITE KARA SHUYETENAKHET	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Enacting Through Touch: Stray Cats in Urban Japan	Kara White	2019年9月	Society for Social Studies of Science (4S)	○
国際会議 (proc なし)	Enacting Community Cats in Urban Japan: Feline Subjects In/Through TNR Practices	Kara White	2019年11月	American Anthropological Association	○
会議報告 /口頭発表	Infrastructures and Disruption in the More Than Social Movement of TNR Practices in Kansai, Japan	Kara S. White	2019年12月	EGOS in Kyoto	○
解説・総説	Living With Stray Cats in Urban Japan Through TNR Practices	Kara White	2019年5月	Landscapes of Cohabitation: Diversity and Divergence in More-than-Human Entanglements in the Anthropocene, Advanced Workshop	—

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	令和元年度科学研究費補助金(特別研究員奨励費)	WHITE KARA SHUYETENAKHET	2019年	文部科学省

学生氏名	ST PIERRE EMILE	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Kyosei as Method: a reflection on the Kyosei symposium	Emile St-Pierre	2019年5月		—
国際会議 (proc なし)	Energy Beyond Organization? Experiments in Renewable Energy Infrastructure in Hokkaido	Emile St-Pierre	2019年12月	EGOS Kyoto 2019	○

学生氏名	神崎 隼人	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
解説・総説	問題は「環境」であるのか???「それだけではない」ポリティカル・オントロジーのアプローチ	神崎隼人	2020年3月	年報人間科学 41巻 129-144	—

学生氏名	KEMIKSIZ ASLI	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
学術論文	Modeled After Life Forms: Embodiment and Ways of Being an Intelligent Robot	Asli Kemiksiz	2019年5月	Japanese Review of Cultural Anthropology 19巻1号 51-81	○								
学術論文	Experiments in Thinking across Worlds: Introduction	Casper Bruun Jensen, Asli Kemiksiz	2019年7月	NatureCulture 5巻 i-xiii	—								
学術論文	Materials of Imagination: On the Limits and the Potentials of the Humanoid Robot	Asli Kemiksiz	2019年9月	5巻 69-94	○								
その他	Boundaries/Transgressions	Asli Kemiksiz	2019年9月	Annual Meeting of the Society for Social Studies of Science. New Orleans, USA,	—								

○受賞/研究助成

受賞	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	第15回日本文化人類学会 奨励賞	Asli Kemiksiz	2020年2月	日本文化人類学会

指導教員	現代思想	講座/研究分野	村上 靖彦
------	------	---------	-------

学生氏名	泉 浩徳	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
学術論文	「知的障害者コミュニティと障害文化 ～S障害福祉サービス事業所における質的調査を通しての一考察～」	泉 浩徳	2020年3月	松山東雲女子大学紀要 第28巻	○								

学生氏名	岡本 かおり	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
学術論文	認知症高齢者とのコミュニケーションに関する現象学的分析	岡本かおり	2019年11月	現象学年報	○								

学生氏名	郷司 律子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
学術論文	生殖補助医療の変化の中での臨床助産師の経験一語りの現象学的分析からー	郷司 律子	2018年7月	機関紙「母性衛生」 2巻 59	○								

学生氏名	藤原 瑞穂	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名		発表年月		掲載誌名/書名/会議(学会)名		審	
会議報告/口頭発表	できるようになるということ 脳卒中者の語りにみられる作業の分節化に関する考察	藤原 瑞穂	2019年9月	日本作業療法学会抄録集第53回日本作業療法学会	○								

学生氏名	近田 真美子	学年	DC3	助成金	助成金の名称	採択者名		採択年月		授与団体名	
助成金	重度の精神障がい者への多職種アウトリーチ支援における現象学的研究	近田真美子	2020年	文部科学省							
助成金	医療現象学の新たな構築	榊原哲也西村ユミ, 守田美奈子, 山本則子, 孫大輔, 野間俊一, 和田渡, 福田俊子, 近田真美子, 西村高宏, 小林道太郎	2018年	文部科学省							
助成金	ケアの現場と人文学研究の協働による新たな老年学の構築	本村昌文近田真美子, 佐々木守俊, 出村和彦, 大貫俊夫, 吉葉恭行, 工藤洋子, 加藤諭	2017年	文部科学省							

学生氏名	田中 雅美	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	重症心身障害児で生まれた我が子を見つめる母親の経験 -動かない我が子を、「僕」として認めるまで-	田中雅美	2019年5月	家族看護学研究 第25巻 第1号	○
学術論文	「我が子が死にゆく過程の記憶と共に生きてきた母親の語り」	田中雅美	2020年1月	臨床実践の現象学	○

指導教員	現代思想	講座/研究分野	檜垣 立哉
------	------	---------	-------

学生氏名	米田 翼	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	個体化の哲学における生殖の問題??ヴァイスマン、ベルクソン、シモンドン	米田翼	2019年4月	思想 (特集*生殖/子ども) 1141 50-68	—
書評	香川千晶ほか『〈いのち〉はいかに語りうるか? --生命科学・生命倫理における人文知の意義』	米田翼	2019年9月	フランス哲学・思想研究日仏哲学会 24	—

注
 1.3-1.指導学生数 推移の教育学系の大学院生在籍者 97 名。活動の記録収集時、大学院生名簿（本科教務係提供）の 98 名を対象者として実施。
 2.回答率・成果有率は対象者を分母として計算。
 3.在籍者には休学者を含む。

2-2-3. 教育学系

教育学系	在籍者 (注)	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	97 名	92 名	93.9 %	31 名	31.6 %

指導教員	西森 年寿	講座/研究分野	教育工学
------	-------	---------	------

学生氏名	布谷 誠悟	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	漢字誤用防止を目指した学習法の効果 漢字の意味に着目して	布谷誠悟	2019年9月	日本教育工学会 2019 年秋季全国大会	-				

学生氏名	大崎 博史	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	高等学校における特別な配慮を必要とする生徒の課題 ～高等学校における合理的配慮の提供や特別支援教育の現状と課題に関するインタビュー調査より～	大崎 博史、笹森 洋樹	2019年9月	ポスター発表(p17-24)日本特殊教育学会第 57 回大会	-				
会議報告 /口頭発表	高等学校における特別支援教育の現状と課題	大崎 博史、伊東 和、谷美也子、石毛 純子、三宮 真智子、笹森 洋樹	2019年9月	自主シンポジウムの企画・司会・話題提供者日本教育心理学会第 61 回総会	-				
解説・総説	特別支援学校（病弱に在籍している）児童生徒の病類調査（令和元年度）	大崎 博史、小西 政孝、新平 鎮博	2020年3月	病弱虚弱教育「全国病類調査（R1）」CD-ROM全国病弱虚弱教育研究連盟、全国特別支援学校病弱教育校長会、全国病弱虚弱教育学校PTA連合会 60号	-				

○受賞/研究助成

助成金	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	科学研究費助成事業（学術助成基金助成金）	大崎 博史	2018年4月	日本学術振興会

学生氏名	雪田 恵子	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	NPO 法人で活動するスタッフの省察の特徴に関する予備的検討	雪田 恵子（大阪大学大学院）、大山 牧子（大阪大学）	2019年9月	日本教育工学会第 35 回全国大会講演論文集日本教育工学会 2019 年秋季全国大会 401・402	-				

学生氏名	ZHU RUI	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	ロボットによる社会的促進における覚醒水準の検討	朱睿	2019年9月	日本教育工学会第 35 回全国大会講演論文集	-				

学生氏名	木村 千夏	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	新聞記事データベースを活用した大学アクティブラーニング教室における読み比べの実践報告	木村 千夏	2019年9月	日本教育工学会 2019 年秋季全国大会講演論文集日本教育工学会 2019 年秋季全国大会	-				
会議報告 /口頭発表	学生の分かりやすさを重視した VALUE Rubrics 日本語訳の作成	木村 千夏	2019年10月	日本 NIE 学会第 16 回大会発表要旨集録日本 NIE 学会第 16 回大会	-				

学生氏名	澤山 郁夫	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	誘引性付加物（Seductive Details）の呈示効果の個人差に関する実験的検討	澤山 郁夫、三宮 真智子	2019年7月	教育システム情報学会誌	○				

学生氏名	表谷 純子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	大学生が行う良い英語プレゼンテーションに関するメタ認知的知識の違いの検討 —大学英語教員と日本人大学生が考える重要項目を比較して—	表谷 純子	2020年2月	異文化の諸相日本英語文化学会 40号 21-34	○
学術論文	What Constitutes a Good English?Language Presentation? —Investigating Differences in Metacognitive Knowledge—	表谷純子, 三宮真智子	2020年3月	神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会紀要神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会 5号 17-28	○

学生氏名	増田 優子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Applicability of mentalizing research in education	Masuda Yuko, Sannomiya Machiko	2020年2月	Osaka Human Sciences 6巻 19-36	—

指導教員	藤岡 淳子	講座/研究分野	教育心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	中西 美絵	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	南スーダン難民における紛争に伴う困難な経験と、レジリエンスの側面から見たキリスト教の役割	中西美絵	2019年5月	日本アフリカ学会第56回学術大会	—

学生氏名	土岐 慧子	学年	DC1		
	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名	
助成金	大阪大学大学院 臨床心理学研究分野 心理臨床研修会	岸朋彦,榎本聖香,土岐慧子,植田杏奈,谷晴加,鈴木孝	2019年	大阪大学大学院人間科学研究科 教育改革推進室	

指導教員	野村 晴夫	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	植田 杏奈	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	知的障害を伴う自閉スペクトラム症の女性との臨床動作法 —セッション参加への枠づくりと文脈づくり—	植田 杏奈	2019年11月	日本リハビリテーション心理学会 第45回学術大会(長崎大会)	—

学生氏名	藤野 遼平	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	高ストレスアセスメント状態の測定ツールとしての認知機能アセスメント尺度の開発	平井啓, 原田恵理, 藤野遼平, 足立浩祥	2019年9月		—
会議報告/口頭発表	身体疾患患者の復職における適応状態の特徴に関する研究	小林清香他	2019年11月		—
会議報告/口頭発表	成人期における生活・業務の認知行動特性尺度の開発—勤労パフォーマンスとストレスマネジメントの観点から—	山村麻予他	2020年3月		—
学術論文	「キャラ」を通じた友人関係における友人グループの影響について—心理的適応と居場所感の観点から—	藤野遼平	2020年3月	大阪大学教育学年報	—

学生氏名	山下 朋美	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	The Process of Interactive Biblio/poetry therapy.	Tomomi Yamashita	2019年8月	第7回表現性芸術療法学会	—

学生氏名	上床 幸太	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	睡眠ワークシートを用いた大学生の睡眠改善効果とその課題性の検証	原田真之介, 上床幸太		2019年9月					—
学術論文	「ブラックボックス」を残して自立の道を歩み始めた青年との面接過程	上床幸太		2020年2月	大阪大学人間科学部心理教育相談室紀要				○

学生氏名	廣瀬 雄一	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	オルタナティブ・ストーリー生成の工夫—森田療法の知見を手がかりに—	廣瀬雄一		2019年6月	日本心理臨床学会第38回大会				—
会議報告 /口頭発表	「毎日、元気で前向きに過ごしたい」という人生観を持つ女性の事例—「はからい」を許容するあり方について—	廣瀬雄一		2019年10月	第36回日本森田療法学会				—
会議報告 /口頭発表	不登校と「母子の分離不安」ナラティブを再考する—「お母さんを守る」というオルタナティブ・ストーリー	廣瀬雄一		2019年10月	日本臨床教育学会第9回研究大会				—
学術論文	問題と「手を切れない」事例の面接過程：森田療法の知見を活かしたナラティブ・セラピー	廣瀬雄一		2019年10月	グリーンサイコセラピー研究, 28巻1号14-25				○

指導教員	佐々木 淳	講座/研究分野	臨床心理学
------	-------	---------	-------

学生氏名	榎本 聖香	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	日本語版 Patterns of Activity Measure-Pain (POAM-P)の開発：言語的妥当性を担保した翻訳版の作成	榎本聖香, 安達友紀, 壬生彰, 田中克宜, 佐々木淳, 西上智彦		2019年4月	日本運動器疼痛学会誌 11巻1号49-56				○
学術論文	A cross-cultural validation of the Multidimensional Pain Readiness to Change Questionnaire 2 for Japanese individuals with chronic pain.	Adachi T, Sunohara M, Ogawa M, Enomoto K, Fujita Y, Mizuno Y, Miki K, Yukioka M, Maeda L, Nishiwaki Y, Itoh K, Nakanishi M, Iwashita N, Kitagawa H, Sasaki J, Jensen MP, Fukui S		2019年7月	Pain Practice 19巻6号609-620				○
国際会議 (procあり)	Impact of Multidisciplinary Rehabilitation by Hospitalization for Patients with Chronic Pain as Assessed Using the Pain Disability Assessment Scale.	Nakahara O, Takahashi N, Enomoto K, Shibata M		2019年6月	13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress				○
国際会議 (procあり)	Validation of the Japanese version of the Patterns of Activity Measure-Pain in patients with chronic pain: A preliminary study	Enomoto K, Adachi T, Mibu A, Tanaka K, Sasaki J, Nishigami T		2019年7月	9th World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies				○
会議報告 /口頭発表	過活動の慢性痛患者への認知行動療法：入院治療における多職種連携の一事例	榎本聖香, 安達友紀, 佐々木樹, 津田清香, 中原理, 高橋紀代, 佐々木淳, 柴田政彦		2019年8月	第19回日本認知療法・認知行動療法学会				○
会議報告 /口頭発表	慢性期におけるペインリハビリテーションの実際	久郷真人, 榎本聖香, 安達友紀, 園田悠馬, 福井聖, 北原照代		2019年9月	第24回日本ペインリハビリテーション学会学術大会				—
会議報告 /口頭発表	慢性頸部痛への運動療法と認知行動療法による集学的治療：症例報告	安達友紀, 久郷真人, 榎本聖香, 北原照代, 福井聖		2019年12月	第12回日本運動器疼痛学会				○
解説・総説	慢性痛チーム医療における心理職の役割	安達友紀, 久郷真人, 榎本聖香, 福井聖		2019年8月	ペインクリニック 40巻8号1073-1081				—
解説・総説	痛みの評価：心理・社会的要因に注目して	榎本聖香, 安達友紀, 福井聖, 佐々木淳		2020年1月	臨床麻酔 44巻1号17-22				—

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	大阪大学大学院 臨床心理学研究分野 心理臨床研修会	岸朋彦榎本聖香, 土岐慧子, 植田杏奈, 谷晴加, 鈴木孝	2019年	大阪大学大学院人間科学研究科 教育改革推進室
助成金	過活動の慢性痛患者に対する完全主義の評価と介入プログラムの開発	榎本聖香	2019年	日本学術振興会

学生氏名	岸 朋彦	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	声にならぬ声を聴き取り,抱え,そして待つという試み	岸朋彦	2020年3月	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要	—

学生氏名	尾崎 瑞	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	外来患者の観察を通じた多職種の役割の違い	尾崎瑞・菅生聖子・遠藤誠之	2019年9月	日本心理学会第83大会	—

学生氏名	藪田 拓哉	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	知的障害を伴う ASD 女性との臨床動作法	植田杏奈・藪田拓哉	2018年11月	日本リハビリテーション心理学会第45回大会	—
会議報告/口頭発表	アニメ視聴による心理学的体験の構造化に関する研究	藪田拓哉・佐々木淳	2019年9月	日本心理学会第83回大会	—
その他	アニメ視聴による心理的体験の構造化および作品/視聴者要因に関する臨床心理学的研究—アニメーション療法の開発に向けて—	藪田拓哉・佐々木淳	2018年2月	日本映像学会映像心理学研究会・アニメーション研究会、日本アニメーション学会心理研究部会 合同研究発表会	—

学生氏名	鈴木 孝	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	カウンセラーの自己開示をクライアントが期待する理由—フォーカス・グループ・インタビューによる探索的調査—	鈴木 孝, 谷 晴加, 佐々木 淳	2019年9月	日本質的心理学会第16回大会発表論文集	—
学術論文	セラピストの自己開示の困難さに関する考察	鈴木 孝	2020年3月	大阪大学大学院人間科学研究科心理教育相談室紀要 25巻1号	—
学術論文	臨床心理面接におけるセラピストの自己開示に関する介入方針: クライアントの価値志向という視点から.	鈴木 孝, 佐々木 淳	2020年2月	カウンセリング研究	○

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	大阪大学大学院 臨床心理学研究分野 心理臨床研修会	岸朋彦榎本聖香, 土岐慧子, 植田杏奈, 谷晴加, 鈴木孝	2019年	大阪大学大学院人間科学研究科 教育改革推進室

指導教員	園山 大祐	講座/研究分野	教育制度学
------	-------	---------	-------

学生氏名	梅田 まや	学年	MC1		
論文分類	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名	
助成金	学部生・大学院生等による国際研究交流プロジェクト	梅田まや	43617	大阪大学大学院人間科学研究科	

学生氏名	田平 修	学年	DC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Comparative analysis of schooling's impact on Muslim identity construction: Independent Islamic school and municipal school in Sweden	Shu Tabira	2020年3月	NERA2020 (Nordic Educational Research Association)	○

指導教員	木村 涼子	講座/研究分野	生涯教育学
------	-------	---------	-------

学生氏名	近藤 凜太郎	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	女性運動の NGO 化と「第三世界」ジェンダー表象—バングラデシュのアシッドバイオレンス根絶運動を事例として	近藤凜太郎	2019年6月	2019年度日本女性学会大会	—
会議報告 /口頭発表	トランスナショナル・フェミニズムという視座—日本の女性学・ジェンダー研究による受容	近藤凜太郎	2019年10月	2019年度日本社会学会大会	○
学術論文	グローバル資本主義を支えるジェンダー表象のダイナミクス：女性に対する暴力をめぐる視覚表象と「第三世界」女性 NGO	近藤凜太郎	2020年1月	マス・コミュニケーション研究	○

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	フェミニスト NGO が産出する「第三世界」のジェンダー表象	近藤凜太郎	2019年	文部科学省

学生氏名	佐藤 智美	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「教育改革」導入以前と以後における女性教員の教職生活の年代間比較—同僚性、ワーク・ライフ・バランス、ジェンダー平等に視点をあてて—	佐藤智美	2020年3月	大阪大学教育学年報 第25号	—

学生氏名	中井 次郎	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
その他	都市生活者のウェルビーイングを前提とした生涯スポーツの再考について	中井 次郎	2020年3月	大阪大学教育学年報 第25号	—

指導教員	岡田 千あき	講座/研究分野	生涯教育学
------	--------	---------	-------

学生氏名	中井 隆斗	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	タンザニアにおける公衆衛生活動報告—海外協力隊大学連携を事例に—	中井隆斗	2019年6月	国際健康・スポーツ分科会第17大会	—
会議報告 /口頭発表	タンザニアにおける子どもへの公衛生活動の可能性—大学と連携した青年海外協力隊の取り組みを事例にして—	大川和愛、中井隆斗、谷本帆乃夏	2020年2月	国際ボランティア学会	—
学術論文	子どもの居場所としての子ども食堂の役割—スポーツによる社会的包摂アプローチ—	中井隆斗、山口志郎、大島秀武	2019年8月	体育・スポーツ科学 28号 7-16	○
国際会議 (proc あり)	A comparative review of qualitative data analysis-Through the case of social inclusion approach through sport at Kodomo Shokudo-	中井隆斗	2019年11月	第26回 TAFISA ワールドコンgres 2019 東京	—
大学・研究所 等の報告	JICA 海外協力隊 活動報告～タンザニア・公衆衛生活動～	中井隆斗、大川和愛、谷本帆乃夏	2019年12月	そうだ、タンザニアに行こう！ JICA 大学連携報告会&2020 募集説明会	—

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	2019年度 挑戦的教育研究活動費	中井隆斗	43709	大阪大学人間科学研究科 人間科学未来共生博士課程プログラム

指導教員	高田 一宏	講座/研究分野	教育文化学
------	-------	---------	-------

学生氏名	高原 克典	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所等の報告	基礎・基本を鍛えて学力を下支えする：B小学校					山口真美・高原克典	2020年1月	平成31年度 尼崎市小・中学校学力・生活実態調査報告 102-113	—
大学・研究所等の報告	中学生の進路意識の変化とその背景					高原克典・山口真美	2020年1月	平成31年度 尼崎市小・中学校学力・生活実態調査報告 65-75	—

学生氏名	宇田 智佳	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	児童養護施設で暮らす子どもたちの学校経験					宇田智佳	2019年9月		—

学生氏名	岩泉 達也	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所等の報告	立場を超えた協働に向けて インドネシアでのフィールド・スタディーを通して考えたこと					岩泉 達也_超域イノベーション博士課程プログラム7期生	2020年1月	国際開発ジャーナル 757号 42-43	—

○受賞/研究助成

助成金	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	企画活動支援 (グループ型)	岩泉 達也	2019年7月	大阪大学大学院超域イノベーション博士課程プログラム

指導教員	志水 宏吉	講座/研究分野	教育文化学
------	-------	---------	-------

学生氏名	藪田 直子	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	継承語としての地域子どもベトナム語教室の実践—参与観察と青年のインタビュー調査から					藪田直子	2019年6月	異文化間教育学会第40回大会「個人発表」405	—
一般著書	移民から教育を考える—子どもたちをとりまくグローバル時代の課題					額賀美紗子, 芝野淳一, 三浦綾希子, 新見有紀子, 敷田佳子, 呉永鎬, 坪田光平, 金南咲季, 藤波海, 山本晃輔, 五十嵐洋己, 山野上麻衣, 高橋史子, 藪田直子, 徳永智子, 住野満稲子	2019年9月	ナカニシヤ出版 pp.205-215, pp.231-232	

学生氏名	川畑 和久	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	持続可能な教育コミュニティ実現の課題とは何か—福岡県A校区の事例をもとに—					川畑和久	2019年10月	九州教育学会研究紀要 第46巻 pp.81-88	○
会議報告/口頭発表	教育コミュニティが子どもの学力に与える影響—ある小学校区を事例にして—					川畑和久	2019年11月	九州教育学会第71回大会要録	—
大学・研究所等の報告	学力との相関が高い、子どもの生活習慣や自尊感情等及び学力向上に関係する保護者の働きかけに関する調査 (2年次)					田川市立教育研究所	2020年3月		—

2-2-4. 共生学系

共生学系	在籍者(注)	回答者	回答率	研究成果有	成果有率
	123 名	105 名	84.0 %	59 名	47.2 %

注

- 1.3-1.指導学生数 推移の教育学系の大学院生在籍者 123 名。活動の記録収集時、大学院生名簿(本科教務係提供)の 125 名を対象者として実施。
- 2.回答率・成果有率は対象者を分母として計算。
- 3.在籍者には休学者を含む。

指導教員	檜垣 立哉	講座/研究分野	共生の人間学
------	-------	---------	--------

学生氏名	南 匠真	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	ドゥルーズ初期の性理論	南匠真	2019 年 7 月	哲学若手研究者フォーラム	—				

学生氏名	森川 勇大	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Deconstruction as Therapeutic Philosophy --- Wittgenstein and Derrida	Yudai Morikawa	2020 年 2 月	Philosophie contemporaine au Japon et en France : PASSAGES PHILOSOPHIQUES IV	—				

学生氏名	柳田 和哉	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	J・S・ミルと W. v. フンボルトにおける人間の目的と政治思想の関係	柳田和哉	2019 年 11 月	関西教育学会第 7 1 回大会	—				
書評	Rebekka Horlacher The Educated Subject and the German Concept of Bildung: A Comparative Cultural History	柳田和哉	2020 年 3 月	共生学ジャーナル	—				

学生氏名	安藤 歴	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	The concept of political community in Jean-Luc Nancy.	Ando Reki	2019 年 6 月	Passages philosophiques IV: Ecosophy, Arts, Politics.	—				
会議報告 /口頭発表	La question du rapport et la communauté? chez Jean-Luc Nancy.	Ando Reki	2020 年 2 月	PASSAGES PHILOSOPHIQUES IV - Philosophie contemporaine au Japon et en France	—				
国際会議 (proc なし)	暴力とモラルー第二次世界大戦後のジョルジュ・パタイユ	安藤歴	2019 年 6 月	カルチュラルタイフーン 2019	○				
大学・研究所 等の報告	寄せ場のインターナショナル	安藤歴	2019 年 7 月	復活ランチトーク	—				

学生氏名	磯島 浩貴	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	T. E. ヒュームの政治思想ーバルクソン論とソレル論を手掛かりに	磯島浩貴	2019 年 6 月	The Association for Cultural Typhoon 2019	○				
会議報告 /口頭発表	ラッセルの空間論	磯島浩貴	2019 年 10 月	関西哲学会第 72 回大会	○				
会議報告 /口頭発表	'Intuition' or 'Scientific Method'? —A Comparative Study of Bergson and Russell on Methodology	Kouki ISOSHIMA	2020 年 2 月	Passages philosophiques IV Philosophie contemporaine au Japon et en France	—				

学生氏名	松井 浩子	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	伊藤高志の初期映画を考察する～ドゥルーズの時間論に依りつつ～	松井浩子	2019年 5月	International Workshop "L'image et le temps: la photographie, le cin?ma et les nouveaux m?dias"	○				
会議報告 /口頭発表	An Analysis of Kamagasaki Obscura: Wandering with the Memories	松井浩子	2019年 6月	International Workshop "Passage philosophiqueIV Ecosophy, Arts, Politics 2019"	—				
会議報告 /口頭発表	映画の空間から逸脱する伊藤高志の実験映像	松井浩子	2019年 12月	日本映像学会関西支部会	○				
学術論文	『SPACY』を再考する—ドゥルーズの「空虚な空間」に依って	松井浩子	2019年 7月	Arts and Media 9号、128頁	○				

学生氏名	辰己 一輝	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	War Machine and Disability	Ikki Tatsumi	2019年 6月	Deleuze Guattari Studies in Asia 2019	—				

学生氏名	小泉 空	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	集合的暴力とその意味づけ—革命、戦争、暴動	小泉空	2019年 6月	カルチュラル・タイフーン2019	—				
会議報告 /口頭発表	ジャン＝フランソワ・リオタールの貨幣哲学—『リビドー経済』を中心に	小泉空	2019年 9月	日仏哲学会 2019年 秋季研究大会	—				
会議報告 /口頭発表	ポール・ヴィリリオと福祉国家の解体	小泉空	2019年 10月	社会思想史学会第44回大会	—				
会議報告 /口頭発表	「いま」の政治と「ここ」の政治—ポスト68年のリオタール、ボードリヤール、ヴィリリオ	小泉空	2019年 12月	社会運動と思想の胎動—アウトノミア運動とフランス日本の思想実践	—				

学生氏名	松本 きみゑ	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	茶書にみる茶道における人間形成—孔子の教えと利休の教え—	松本きみゑ	2019年 4月	比較文化研究 No.135 197-208	○				

学生氏名	AAMES JIMMY	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Patternhood and Generality: A Peircean Approach to Emergence	Jimmy Aames	2019年 12月	European Journal of Pragmatism and American Philosophy XI 巻2号	○				
会議報告 /口頭発表	パス「新しいカテゴリー表」における被関係項概念	Jimmy Aames	2019年 6月	アメリカ哲学フォーラム第6回大会	—				
会議報告 /口頭発表	パターン性と一般性：パスの哲学から創発を考える	Jimmy Aames	2019年 6月	科学基礎論学会 講演会	—				
会議報告 /口頭発表	近藤和敬『〈内在の哲学〉へ』に対するコメント	Jimmy Aames	2019年 9月	近藤和敬『〈内在の哲学〉へ』合評会	—				

学生氏名	小谷 弥生	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	シ?ル・ト?ゥルーズ?前期著作における?裂(fe?lure)の意義について—ゾラ、フィッツシ?ェラルト?、ラウリーとともに—	小谷弥生	2019年 6月	社藝堂 6号	○				
会議報告 /口頭発表	能における「面(顔)」と「所作(身体)」の哲学的探求—顔身体学における「能」の可能性と展望	小谷弥生	2019年 12月	第4回公開シンポジウム「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」	—				
その他	能の面(おもて)より立ち現れる感情についての現象学的試論	小谷弥生	2019年 8月	「顔・身体学」第4回領域会議(於: 東京大学駒場キャンパス)	○				

学生氏名	佐原 浩一郎	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Change of Deleuze's attitude toward Leibniz "The Fold"	Koichiro Sahara		2019年6月					—

学生氏名	得能 想平	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	トゥルニエの「非人称主義」——サルトルの『存在と無』との比較において——	得能 想平		2019年12月	46号 32-43				○
国際会議 (proc あり)	What should philosophy be? --Deleuze and his early texts	Sohei Tokuno		2019年6月	Deleuze/Guattari Studies in Asia 7th International Conference 2019 Tokyo				○
国際会議 (proc なし)	The "Impersonalism" of Michel Tournier	Sohei TOKUNO		2020年2月	ナンテール大学・神戸大学・大阪大学共同ワークショップ				—

学生氏名	織田 和明	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	The Ontology of "Iki" and Fūryū: On The Possible Being in The Philosophy of Kuki Shūzō	ODA Kazuaki		2019年8月	The Fifth Annual Conference of the European Network of Japanese Philosophy				○
会議報告 /口頭発表	北軽井沢の田辺元に：あなたとともに、たったひとり	織田和明		2019年5月	第5回共生学セミナー				—

学生氏名	平田 公威	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	質料から器官なき身体へ：『千のプラトー』におけるイエラムスレウ言語素論の意味—質料受容にもとづいた考察	平田公威		2019年8月	hyphen				—
学術論文	出来事は必ずや実現される：『意味の論理学』における contre-effectuation 概念再考	平田公威		2019年9月	フランス哲学・思想研究				○

学生氏名	上野 隆弘	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	バシュラール とセール—エピステモロジーの一系譜—	上野隆弘		2019年4月	共生学ジャーナル				○
学術論文	誤謬の学としての哲学——バシュラールの歴史的認識論について	上野隆弘		2019年7月	哲学の門：大学院生研究論集				○

学生氏名	黒木 萬代	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	少女の目に映るわたしたちが彼女のこの世界を信じる理由となるために??ドゥルーズのマゾホ論からみるフェティシズムについて	黒木萬代		2020年2月	現代思想 48巻4号 283-289				—
学術論文	『差異と反復』と『意味の論理学』の断絶を示すものとしての「表面」概念について——「プラトニズムの転倒」と時間論の観点から——	黒木萬代		2020年3月	共生学ジャーナル 4号				○
その他	映画と女の子——ガールミーツシネマ	黒木萬代		2019年7月	ユリイカ 51巻12号 60-65				—

学生氏名	豊泉 俊大	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	グッドマンの非実在論についての一考察	豊泉 俊大	2019年 7月	哲学若手研究者フォーラム	—				
会議報告 /口頭発表	郵便ポストのアフォーダンス	豊泉 俊大	2019年 9月	第146回征の会	—				
学術論文	郵便ポストのアフォーダンスについての一考察	豊泉 俊大	2020年 3月	共生学ジャーナル	○				
その他	画像的再現をめぐるギブソンの見解	豊泉 俊大	2019年 12月	第5回顔・身体学領域会議	—				

指導教員	稲場 圭信	講座/研究分野	共生社会論
------	-------	---------	-------

学生氏名	八木 景之	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	被災地とアート、媒介者による両極の一致：「コンポジウム気仙沼」の経験をもとに	八木景之、沈一撃、王文潔、稲場圭信	2019年 11月	日本災害復興学会 2019年度鳥取大会予稿集	○				
学術論文	共生概念の二類型 — 有用性による共生・興味性による共生 —	八木 景之	2020年 3月	共生学ジャーナル 4	○				

学生氏名	佐々木 美和	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	被災後の非表出的ニーズに対する制度宗教の可能性：平成30年7月豪雨における、キリスト教会・呉ボランティアセンターの一員としての視点から	佐々木美和	2019年 10月		○				

学生氏名	王 文潔	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	ブリコラージュ概念の実践的意義の検討	王文潔	2019年 10月	第92回日本社会学会	○				
学術論文	災害対応における創造的即興：熊本地震被災地の実践を事例に	王文潔、稲場圭信	2019年 8月	災害と共生	○				
学術論文	被災地とアート、媒介者による両極の一致：「コンポジウム気仙沼」の経験をもとに	八木景之、沈一撃、王文潔、稲場圭信	2019年 11月	日本災害復興学会 2019年度鳥取大会予稿集	○				
書評	星野英紀・弓山達也編著『東日本大震災後の宗教とコミュニティ』	王文潔	2019年 10月	宗教と社会貢献	—				
大学・研究所等の報告	大阪府北部地震における災害ボランティアの共創～学生を中心とした『つっぱり棒の会』と『1年のつどい』～	寶田玲子、置塩ひかる、王文潔、山本菜理他	2020年 3月	大阪大学大学院人間科学研究科未来共創センター『未来共創』第7号（掲載予定）	—				

学生氏名	ELHADEY ABDELRAHIM IBRAHIM	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	日本におけるマスの増加：茨木マスの内部の視点から	Abdelrahim Elhadedy	2019年 4月		○				

学生氏名	大河内 大博	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	グリーンケア — 亡き人とともに生きる	大河内大博	2019年 4月	ともに生きる仏教 — お寺の社会活動最前線	—				

学生氏名	沈 一撃	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	都市部宗教施設の災害対応力と防災対策協力意向およびその地域偏在構造：「東京都宗教施設調査」に基づき	沈一撃、稲場圭信	2019年10月	日本災害情報学会第21回学術大会予稿集	○				
学術論文	被災地とアート、媒介者による両極の一致：「コンボジウム気仙沼」の経験をもとに	八木景之、沈一撃、王文潔、稲場圭信	2019年11月	日本災害復興学会2019年度鳥取大会予稿集	○				

指導教員	志水 宏吉	講座/研究分野	共生社会論
------	-------	---------	-------

学生氏名	大川 ヘナン	学年	MC1	論文分類	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	2019年度ユニバーサル財団研究助成金	大川ヘナン	2019年10月	公益財団法人ユニバーサル財団				
助成金	令和元年度挑戦的教育研究活動経費	大川ヘナン	2019年7月	大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構				

学生氏名	岡本 工介	学年	MC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	困難を抱える子どもを支える子ども食堂におけるソーシャルワークの有用性—大阪府高槻市富田地区における「ただいま食堂」の実践から—	岡本 工介	2018年12月	第20回日本子ども健康科学会—子どもの心・体と環境を考える会—	—				
会議報告/口頭発表	子ども食堂の存続に係る運営者の実践モチベーションの研究—大阪府高槻市の子どもの食堂の現状と課題—	糸井菜々子・宮崎汀・荷出翠・原純子・岡本工介	2018年12月	第20回日本子ども健康科学会—子どもの心・体と環境を考える会—	—				
会議報告/口頭発表	子ども食堂における社会的不利を抱える子どもたちの包摂の仕組—大阪府高槻市富田地区における子どもの居場所づくり事業の実践から—	岡本 工介	2019年6月	日本家庭福祉学会第20回全国大会	—				
会議報告/口頭発表	社会的企業がプラットフォームとなった子どもたちの包括的支援の可能性—高槻富田地区一般社団法人タウンスペース WAKWAKにおける子どもの居場所づくり事業—	岡本 工介	2019年6月	関西教育行政学会6月例会	—				
その他	『差別の現実を社会的包摂で超える—タウンスペース WAKWAKの活動』	岡本 工介	2018年8月	部落解放・人権研究所発行・雑誌月刊『ヒューマンライツ』 26-31	—				
その他	『ひとりぼっちのいない町づくり—大阪府高槻市富田地区の取り組み』	岡本 工介	2018年9月	第一法規株式会社『地域包括支援・総合相談事例集』 72号	—				
その他	関西大学人権問題研究室紀要『大阪府高槻市富田地区における包摂型のまちづくり—子ども食堂をはじめとする子どもの居場所づくり事業を中心に—』	岡本 工介	2019年3月	関西大学人権問題研究室紀要 77号 85-103	—				
その他	高槻市富田地区「ひとりぼっちのいないまち」づくり	岡本 工介	2019年12月	(公社)子ども情報研究センター季刊『はらっば』 391号 34-37	—				

学生氏名	瀬戸 麗	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所等の報告	学習レリバンスと学力	瀬戸麗,山口真美	2020年1月	平成31年度 尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告 46-53	—				

学生氏名	山川 温	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	Perspectives in Inclusive Education: How does building relationship in regular classrooms work with paraprofessionals?	Yoshi Yamakawa	2019年8月	—	—				
会議報告/口頭発表	インクルーシブ教育の実践と課題	山川温	2019年9月	—	—				
大学・研究所等の報告	話し合い・教え合いが育む自尊感情	山川温,山口真美	2020年1月	平成31年度 尼崎市立小・中学校学力・生活実態調査報告 54-64	—				

学生氏名	植田 泰史	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	外国人生徒の高校卒業後の進路形成に関する研究 ー大阪府特別枠校の卒業生インタビューよりー	棚田洋平、林貴哉/山本晃輔、植田泰史、伊藤莉央、櫻木晴日、榎井縁、王一ケイ	2019年9月	日本教育社会学会第71回大会	ー				

学生氏名	島袋 夏妃	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所 等の報告	「中学生の仲間集団内における相互作用・生徒の学業達成に注目して」	島袋夏妃	2019年	教育文化学年報 14巻 140-149	ー				
大学・研究所 等の報告	「歩み続ける野田村 アジア民族造形館からのバトン」	島袋夏妃・植田・藤原・木原 他	2019年	未来共生学 2019 6巻 379-406	○				

学生氏名	ZHAO YUJIE	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	中国の中学校における教師生徒関係と生徒の学力への影響に関する研究	趙宇杰	2019年4月	大阪大学教育文化学年報 14号 150-160	ー				

学生氏名	石川 結加	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
一般著書	未来を創る人権教育 大阪・松原発 学校と地域をつなぐ実践	志水宏吉, 島善信	2019年9月	明石書店 第5章「同和教育・人権教育実践を卒業生はどう受け止めたか ー世代別インタビューから」 151-174頁					

学生氏名	澤井 未緩	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
一般著書	未来を創る人権教育 大阪・松原発 学校と地域をつなぐ実践	志水宏吉, 島善信	2019年9月	明石書店					

学生氏名	山口 真美	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	教師は何を保護者に伝えているのか：小学校における学級通信の分析から	山口真美	2019年9月	日本教育社会学会 第71回大会	ー				
学術論文	グローバル化社会における補習授業校の現状：スウェーデン S校の教員へのインタビューから	山口真美	2019年4月	教育文化学年報	ー				
学術論文	学校運営に対する保護者の要望における社会的背景の影響：マルチレベル分析による検討	山口真美	2020年3月	教育科学セミナー 51号	○				
国際会議 (proc なし)	What Do Teachers Tell and Ask of Parents in Daily Life? : Analysis of Classroom Newsletters in Elementary School	Manami YAMAGUCHI	2019年8月	WERA Focal Meeting (世界教育学会 10周年記念大会)	○				
書評	書評『教育と他者：非対称性の倫理に向けて』	山口真美	2020年3月	『未来共創』	ー				
大学・研究所 等の報告	学習レリパンスと学力	瀬戸麗,山口真美	2020年1月	平成31年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告 46-53	ー				
大学・研究所 等の報告	基礎・基本を鍛えて学力を下支えする：B小学校	山口真美,高原克典	2020年1月	平成31年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告 102-113	ー				
大学・研究所 等の報告	中学生の進路意識の変化とその背景	高原克典,山口真美	2020年1月	平成31年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告 65-76	ー				
大学・研究所 等の報告	話し合い・教え合いが育む自尊感情	山川温,山口真美	2020年1月	平成31年度 尼崎市立小・中学校 学力・生活実態調査報告 54-64	ー				

学生氏名	伊藤 駿	学年	DC3		
	助成金の名称		採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	インクルーシブ?教育における教師の支援と児童間の秩序生成過程に関する研究	伊藤駿		2019年	日本学術振興会

学生氏名	伊藤 莉央	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	学校段階別にみる多文化教育展開の困難と可能性	伊藤莉央	2019年6月		—
会議報告/口頭発表	教員の「社会的差異」認識の困難と可能性	伊藤莉央	2019年9月		—
その他	学力格差に向き合う学校	若槻健, 知念渉, 中村瑛仁, 川畑和久, 西徳宏, 伊藤駿, 数実浩佑, 伊藤莉央	2019年9月	明石書店	

学生氏名	数実 浩佑	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (procあり)	Does Compensatory Advantage Exist in the Relationship between Academic Performance and Effort?: Using Panel Data Analysis with Distinction of the Direction of Changes	Kazumi Kosuke	2019年8月	Research Committee of Social Stratification and Mobility (RC 28) Summer Meeting	○
書評	書評: 広瀬巖『平等主義の哲学: ロールズから健康の分配まで』	数実浩佑	2019年4月		—
専門著書	シリーズ・学力格差3 学校編 学力格差に向き合う学校 (第6章 共に学び自立を目指す学校文化)	数実浩佑	2019年9月	明石出版	
専門著書	シリーズ・学力格差1 統計編 日本と世界の学力格差 (補論 Rを用いた PISA・TIMSSの分析)	数実浩佑	2019年12月	明石出版	
専門著書	シリーズ・学力格差1 統計編 日本と世界の学力格差 (第7章 中学生における進学アスピレーションの階層間格差)	数実浩佑	2019年12月	明石出版	

学生氏名	高橋 味央	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	子どもの貧困・排除をめぐる教育と福祉の今日的課題—社会的排除/包摂の視点から—	高橋味央	2020年3月	HumanWelfare 12巻	—
学術論文	生活困難層の子どもを包摂する教師の葛藤と対処戦略—子どもアドボカシーとしての教育実践—	高橋味央	2020年3月	人間教育と福祉 9巻	○

指導教員	千葉 泉	講座/研究分野	共生社会論
------	------	---------	-------

学生氏名	桂 悠介	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	イスラームへの改宗に至る経験と論理—イスラームをめぐる「共生」に向けて—	桂 悠介	2019年6月	「宗教と社会」学会 第27回学術大会	○
会議報告/口頭発表	イスラームをめぐる共生に向けた間文化的実践の可能性: 大阪での対話実践を事例に	桂 悠介	2019年12月	社会文化学会 第22回全国大会	○
学術論文	コンヴァージョン研究を通じた共創の可能性—日本の主流社会とイスラームの関係を捉える出発点として—	桂 悠介	2020年3月	未来共創ジャーナル	○
学術論文	創発的パラダイムとしての「共生学」の確立に向けて (1) —共生の諸課題とメタ理論的視座の必要性—	桂 悠介	2020年3月	共生学ジャーナル	○
国際会議 (procあり)	楽器、ヒューマン・ビートボックスの使用は許容されるか? —YouTube 上でのイスラーム・ラッパー、アーティスト、イスラーム学徒の議論から—	桂 悠介	2019年5月	カルチュラル・タイフーン 2019	○
大学・研究所等の報告	「共生ごっこは、もうこりごり」	桂 悠介	2019年5月	第5回 共生学研究会	—
大学・研究所等の報告	CRに関心を持ったきっかけと、Matthew L. N. Wilkinson の Islamic Critical Realism について	桂 悠介	2019年6月	批判的実在論研究会	—

指導教員	渥美 公秀	講座/研究分野	共生行動論
------	-------	---------	-------

学生氏名	MIN YALI	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Collaboration with disaster volunteer activities through Social Networking Service	Yali,M. & Atsumi, T	2019年10月	Integrated Disaster Risk Management	—

学生氏名	寶田 玲子	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Consider disaster management within a different context of the members in local Community ~Case Study from the Support Group “Ciranda no Kai” in Japan~	Reiko HODA, Tomohide ATSUMI	2019年10月	The 10th conference of the international society for Integrated Disaster Risk Management Nice, France	—
学術論文	在日外国人による災害支援活動と地域活動の互酬性についての一考察～在日外国人支援団体「シランダの会」の事例より～	寶田玲子、渥美公秀	2020年3月	大阪大学共生学ジャーナル 第4号 (掲載予定)	—
大学・研究所 等の報告	大阪府北部地震における災害ボランティアの共創～学生を中心とした『つっぱり棒の会』と『1年のつどい』～	寶田玲子、置塩ひかる、王文潔、山本菜理他	2020年3月	大阪大学大学院人間科学研究科未来共創センター『未来共創』第7号 (掲載予定)	—

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	社会福祉専門職に必要とされる批判的思考の育成を目指した教育方法の実践的開発	久保田 祐歌, 池田史子, 寶田玲子, 新原将義, 中井俊樹	2019年	文部科学省
助成金	Consider disaster management within a different context of the members in local Community ~Case Study from the Support Group “Ciranda no Kai” in Japan~	Reiko HODA, Tohomide ATSUMI	2019年	関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 国際交流活動助成

指導教員	山本 ベバリー・アン	講座/研究分野	共生教育論
------	------------	---------	-------

学生氏名	木原 琴	学年	MC2		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
大学・研究所 等の報告	歩み続ける野田村 アジア民族造形館からのバトン	玉田なつみ、木原琴、中川花恋、藤原風沙、山本枝里、植田泰史、島袋夏妃、林亦中、岩泉達也	2019年3月	未来共生学 6号 379-406	—

学生氏名	LI YAN	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	A review essay on women's work in modern Japan: with a focus on social class	Harel Sinai, Li Yan, Yamamoto Beverley Anne	2020年2月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 46巻 97-121	○

学生氏名	HAREL SINAI	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	A review essay on women's work in modern Japan : with a focus on social class	Harel, Sinai; Li, Yan; Yamamoto, Beverley Anne	2020年2月	大阪大学大学院人間科学研究科紀要 46巻 97-121	

学生氏名	DOS SANTOS GUERREIRO HOFMEYR ANA SOFIA	学年	DC2		
	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名	
受賞	JALT Research Grant	HOFMEYR Ana Sofia	2019年4月	JALT	

学生氏名	Gundsambuu Sainbayar	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Internationalization and English as a medium of instruction in Mongolian higher education	Gundsambuu Sainbayar	2019年6月	Journal of Education 7巻1号 71-92	○

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	Financial Aid for International Conferences	Sainbayar Gundsambuu	2019年5月	Osaka University Graduate School of Human Sciences

学生氏名	WILLIAMS, ELISABETH ANN	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (procあり)	Articulations of desire, masculinity, and race in gendered expectations of communication among Japanese male sojourners	Elisabeth (Libby) Ann Morinaga Williams	2019年5月		○

学生氏名	POUROMID SAJJAD	学年	DC3		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Shaping Learner Responses in Question-Answer Sequences in the EFL Classroom	Sajjad Pouromid	2019年12月	International Journal of Learning, Teaching and Educational Research	○
学術論文	From incompetence to competence: maintaining intersubjectivity through shifting epistemic stance in intercultural L2 talk in an Asian context	Sajjad Pouromid	2020年2月	Asian Englishes	○

指導教員	澤村 信英	講座/研究分野	国際協力学
------	-------	---------	-------

学生氏名	LUO FANGZHOU	学年	MC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 / 口頭発表	中国におけるアフリカ人学生の留学動機、生活課題、進路選択 一厦門大学の奨学金受給者を事例として一	LUO FANGZHOU	2019年12月	第58回アジア教育研究会	—

○受賞/研究助成

	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	挑戦的教育研究活動		2019年9月	大阪大学人間科学研究科 人間科学未来共生博士課程プログラム

学生氏名	RASOLONAIVO ANDRIAMANASINA ROJONIAINA	学年	DC1		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 / 口頭発表	Citizenship education in the context of Madagascar: what do children, parents, and teachers expect from the school curriculum?	Andriamanasina Rojoniaina Rasolonaivo	2019年11月	Japan Society of International Development	○
会議報告 / 口頭発表	Exploring the disparity in the provision and needs in citizenship education in Madagascar	Andriamanasina Rojoniaina Rasolonaivo	2019年11月	International Education Development Forum	—
学術論文	The representation of Civic Education in Madagascar: exploring the evolution of textbook contents	Andriamanasina Rojoniaina Rasolonaivo	2019年12月	Africa Educational Research Journal	○

学生氏名	ANDRIARINIAINA FANANTENANA RIANASOA	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	School to work in the rural area of Madagascar: upper secondary school children's aspiration in perspective of the new education policy	Fanantenana Rianasoa Andriariniaina, Nobuhide Sawamura	2019年6月	Japan Society of International Development	○				
会議報告 /口頭発表	Exploring children's readiness for school to work transition in the rural area of Madagascar	Fanantenana Rianasoa Andriariniaina	2019年7月	アジア教育研究会	—				
会議報告 /口頭発表	Preparing school to work transition in Malagasy low-income areas: between personal aspirations and household initiatives	Fanantenana Rianasoa Andriariniaina	2019年11月	Japan Society of International Development	○				
会議報告 /口頭発表	School-to-work transition in the low-income areas of Madagascar: between the community, the household and the individual	Fanantenana Rianasoa Andriariniaina	2019年11月	International Education Development Forum	—				

指導教員	宮原 暁	講座/研究分野	多文化共生学
------	------	---------	--------

学生氏名	SUN YIFAN	学年	DC1	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	在日中国人家庭の言語実態 — 在日中国人児童・生徒の言語習得をめぐる母親の苦悩を焦点にして—	孫亦凡	2019年5月	第1言語としてのバイリンガリズム研究会 (BiL1)?第19回研究会	○				
大学・研究所等の報告	在日中国人家庭の言語実態—在日中国人児童・生徒の言語習得をめぐる母親の教育戦略に焦点をあてて—		2019年8月	大阪大学地域研究フォーラム (OUFAS) 第90回例会	—				
大学・研究所等の報告	東アジアにおける言文一致運動の再考—識字の視点から—	孫亦凡	2019年12月	大阪大学地域研究フォーラム (OUFAS) 第95回例会	—				

学生氏名	范 智盈	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	二戦前在日客家人相關考察：以丘念台與東寧學會為中心	范智盈	2019年11月	全球客家研究 13卷 149-170	○				
会議報告 /口頭発表	彭阿木與客家研究	范智盈	2019年10月	2019百年往返：臺灣與日本客家研究之對話 國際研討會	—				

学生氏名	RUIZ FRIEDA JOY ANGELICA OLAY	学年	DC3	論文分類	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	Financial Grant to Participate in the Japan Foundation Winter Institute 2019	Frieda Joy Angelica Olay Ruiz	2019年12月	Japan Foundation				

学生氏名	岡野 翔太	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
一般著書	二重国籍と日本	国籍問題研究会編	2019年10月	筑摩書房					

指導教員	大谷 順子	講座/研究分野	地域創生論
------	-------	---------	-------

学生氏名	SUN YI TING	学年	MC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	台湾のケアマネジャーが抱える業務遂行上の困難に関する質的研究—日本の介護現場における事例との相違点に着目して—	孫意婷(Sun Yi Ting)・小笠原理恵・陳雅美・鄭雅文・大谷順子	2020年3月	第38回日本国際保健医療学会西日本地方会	—				

学生氏名	CHEN YIXUAN	学年	DC2	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Community Disaster Risk Reduction during Urbanization of Sichuan ,China	Yixuan CHEN, and Junko OTANI	2019年10月	The 15th Association of Pacific Rim Universities (APRU) Multi-Hazards Symposium, Mexico	○				
国際会議 (proc なし)	Effect of natural disasters on perinatal health	Junko Otani, Yixuan Chen, Lisa Gibbs, Christie LaiMing Lam, Xin Gao	2019年10月	The 15th Association of Pacific Rim Universities (APRU) Multi-Hazards Symposium, Mexico The 15th Association of Pacific Rim Universities (APRU) Multi-Hazards Symposium, Mexico, Panel: Health and Poverty	○				

学生氏名	高 欣	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
国際会議 (proc なし)	Impacts of dark tourism after Sichuan Earthquake in China	Xin GAO, and Junko OTANI	2019年10月	The 15th Association of Pacific Rim Universities (APRU) Multi-Hazards Symposium, Mexico The 15th Association of Pacific Rim Universities (APRU) Multi-Hazards Symposium, Mexico	○				

指導教員	河森 正人	講座/研究分野	地域創生論
------	-------	---------	-------

学生氏名	東田 全央	学年	DC3	論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	多元的な障害統計をどのように捉えるかーモンゴル国の事例からー	東田全央	2019年6月	共生学ジャーナル	—				
専門著書	Developmental Social Work in Disability Issues: Research and Practice for Promoting Participation in Rural Sri Lanka	Masateru Higashida	2019年7月	Ashoka Disability Research Forum					

2-2-5. PDの研究記録

指導教員	中道 正之	講座/研究分野	行動生態学講座/比較行動学
------	-------	---------	---------------

氏名	齋藤 美保	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Sleep-related behaviors in zoo-housed giraffes (<i>Giraffa camelopardalis reticulata</i>): basic characteristics and effects of season and parturition.	Takagi, N., Saito, M., Ito, H., Tanaka, M. and Yamanashi, Y.	2019年11月	Zoo Biology 38巻6号490-497	○
学術論文	Nighttime suckling behavior in captive giraffe (<i>Giraffa camelopardalis reticulata</i>)	Saito, M., Takagi, N., Tanaka, M. and Yamanashi, Y.	2020年1月	Zoological Science 37巻1号1-6	○
会議報告/口頭発表	Suckling and allosuckling behavior in giraffe. The 10th International Seminar on Biodiversity and Evolution	Saito, M. and Idani, G	2019年5月	The 10th International Seminar on Biodiversity and Evolution	—
会議報告/口頭発表	Giraffe habitat selection for resting and nursing in Katavi National Park, Tanzania.	Saito, M. and Idani, G	2019年5月	The 10th International Seminar on Biodiversity and Evolution	—
大学・研究所等の報告	動物の仔育て～意外と知らないキリンの場合～	齋藤美保	2019年10月	近畿大学農学部イルカゼミ	—
大学・研究所等の報告	キリンの夜の授乳事情—京都市動物園のキリンの母仔のビデオ観察からわかったこと—	齋藤美保	2020年1月	京都市動物園. 夜の図書館カフェ DE トーク	—

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	第36回井上研究奨励賞	齋藤美保	2020年2月	井上科学振興財団
	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	乾太助記念動物科学研究助成基金	齋藤美保	2019年7月	一般財団法人 自然環境研究センター

指導教員	森田 敦郎	講座/研究分野	基礎人間科学講座/科学技術と文化
------	-------	---------	------------------

氏名	森下 翔	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	「融合」としての認識=存在論-「非・自然主義的」な科学実践を構成する「観測データへの不信」と「ア・プリオリなデータ」の概念	森下翔	2020年6月	文化人類学 85巻1号	○
会議報告/口頭発表	観測する科学者を観測する:「ヒトを見ないようにヒトを見ること」と「サルを見るようにヒトを見る」こと	森下翔	2020年3月	フィールドサイエンス・コロキウム	—

指導教員	村上 靖彦	講座/研究分野	基礎人間科学講座/哲学と質的研究
------	-------	---------	------------------

氏名	奥堀 亜紀子	PD			
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/ 発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告/口頭発表	「二人称の死」を考える	奥堀亜紀子	2019年11月	「本屋 de 哲学」でおこなった講演 (一坪書店文庫、石巻市)	—
学会報告/口頭発表	生活とは何か —東日本大震災から考える、普段は見知らぬものの存在が際立つとき	奥堀亜紀子	2019年8月	臨床実践の現象学会 第5回大会	○
書評	河野 哲也著 『じぶんで考え じぶんで話せる こどもを育てる哲学レッスン』	奥堀亜紀子	2019年9月	『フランス哲学・思想研究』 24号 264-267	—
専門著書	『現代フランス哲学入門』		2019年4月	ミネルヴァ書房 「ジャンケレヴィッチ」	—
その他	震災後の人々の気持ちを哲学から研究	奥堀亜紀子	2020年3月	「石巻日日こども新聞」第33号、2020年3月11日、公益社団法人こども未来研究所 (取材を受けて、記事掲載)	—

指導教員	澤村 信英	講座/研究分野	グローバル共生学講座/国際協力学
------	-------	---------	------------------

氏名	坂上 勝基		PD		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
会議報告 /口頭発表	Determinants of pupils' learning outcomes among refugees and their hosts: Evidence from West Nile, Uganda	Katsuki Sakaue	2019年4月	アフリカ教育学会第23回大会(国際基督教大学)	—
会議報告 /口頭発表	The effects of teaching assistants on learning outcomes of refugees: Evidence from refugee settlements in West Nile, Uganda	Katsuki Sakaue	2019年6月	日本比較教育学会第55回大会(東京外国語大学)	—
会議報告 /口頭発表	The effects of the refugee crisis in a host country on primary education: The case of influxes of South Sudanese refugees in West Nile, Uganda	Katsuki Sakaue	2019年6月	国際開発学会第20回春季大会(陸前高田グローバルキャンパス)	○
会議報告 /口頭発表	An analysis of the effects of refugees on learning achievements of local children: Evidence from host communities in West Nile, Uganda	Katsuki Sakaue	2019年10月	アフリカ教育学会第24回大会(宮崎大学)	—
学術論文	ウガンダ北部の難民受入地域への教育援助に関する一考察—初等学校の教員と児童の視点に着目して—	坂上勝基	2019年12月	アフリカ教育研究 10号 78-92	○
国際会議 (procなし)	Host population's perspectives on the education response to the South Sudanese refugee influx in Uganda: The case of the Bidibidi refugee settlement	Katsuki Sakaue	2019年5月	XVII World Congress of Comparative Education Societies (Cancún, Mexico)	○
国際会議 (procなし)	The effectiveness of educational response to refugee crises within national system: Evidence from South Sudanese refugee settlements and host communities in West Nile, Uganda	Katsuki Sakaue	2019年9月	2019 UKFIET Conference (University of Oxford)	○
国際会議 (procなし)	Including refugees in a host country's education system: Some evidence and implications for achieving SDG 4	Katsuki Sakaue	2019年11月	International Education Development Forum 2019 (Weseda University)	—

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	最優秀研究発表賞	坂上勝基	2019年4月	アフリカ教育学会
	助成金の名称	採択者名	採択年月	授与団体名
助成金	平成31年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特別研究員奨励費)	坂上勝基	2019年6月	日本学術振興会

指導教員	岡部 美香	講座/研究分野	臨床教育学講座/教育人間学
------	-------	---------	---------------

氏名	李 舜志		PD		
論文分類	書名/論文タイトル	著者名/発表者名	発表年月	掲載誌名/書名/会議(学会)名	審
学術論文	Educational methods and cognitive modes: Focusing on the difference between Bernard Stiegler and N. Katherine Hayles	Sunji Lee	2019年5月	52巻 376-383	○
学術論文	教育課程におけるシティズンシップ教育の多様性—自由学園男子部の実践に着目して—	相田まり、李舜志	2020年4月	東邦大学教職教育研究	—
大学・研究所等の報告	School Trip in Japan: In the Context of Global Communication	Sunji Lee	2019年11月	Global Communication in Baruch Colloge (New York)	—

○受賞/研究助成

	賞名	受賞者名	受賞年月	授与団体名
受賞	日本教育学会奨励賞	李舜志	2019年8月	日本教育学会